

フィンランドの北カレリア地方の 森の生活

兵庫県立大学緑環境マネジメント研究科
淡路景観園芸学校園芸療法課程

講師 天野玉記

北カレリア地方の森の生活

典型的なフィンランドでの採集生活

森でキノコ・ベリー摘み

(法律; 森の中の植物はだれがどこで何を採取してもよい)。

湖で漁をする(定置網がポピュラー)。ボートも個人で持っている。

食事は、森の幸と湖で取れた魚と庭の菜園でとれた野菜やハーブ。

サウナ: バケツで湖から水を運ぶ。薪も小さく割っておく。夕方から準備。

サウナで温まり、湖に飛び込み泳ぐ(サウナも泳ぎも裸のまま)

ほぼ毎日サウナに入る。(高齢者は疲れるので1日おき位)

<コメント>

森に感謝しながら森の幸を頂けば森の魂が新鮮なエネルギーを与えてくれる。

森の色々な音、鳥の歌、風の音、すべてがどんな素晴らしい音楽よりも優れていると感じる。

森が心身を共に優しく癒してくれる。

「サウナと松ヤニで直せない病気は死に至る」という諺がある。

森と湖の中での生活



森と湖の中で の生活 サウナ室



「女性客のためのサウナ」と書いてある



サウナ

薪は森で取って来る
薪割りをする



森と湖の中での 生活

手作りの階段



サウナ室から下りてき
て湖で泳ぐ



対岸のお隣さん はる
かかなたに2軒見える



湖での漁のための網

森と湖の中での 生活



菜園(ルッコラ・レタス・ねぎなど)



残飯などのゴミから肥料を作る



野菜温室(トマト・なすなど)



ブラックベリー(自生)

隣人宅1(老夫婦)



窓から湖が見える

農業と漁を営む

卵や農作物(ジャガイモや玉ねぎなど)を近隣の人が買いにくる農家の老夫婦



隣人宅2（老夫婦）



教会の役割:

高齢者の集会所および伝統的なパンを焼いて販売し、
高齢者の収入を得る活動をしている

- 1階: 託児所
- 2階: 教会と高齢者のパン工房



パイを販売して収入を得ている



教会の役割:パン工房



300度の高温で焼くのは
男性のお仕事



パイ作りに挑戦



カレリア地方の伝統
的なパイ
カレリアンピーラッカ

カレリア地方の生活についての感想

- サウナ発祥の地:「サウナの無い生活は考えられない」
- サウナの中で、温めた白樺やナナカマドの小枝でバサバサと体を叩き、緑の香りを楽しむ。
- 美しい湖畔にあるサウナの楽しみ方:薪を焚き石を焼き、ゆっくりと体を蒸し、汗が噴き出たところで裸で庭を駆け抜け湖で泳ぐ・・・(しかし、冷た過ぎて泳げなかった)
- 白夜で、ずっと明るいのでブラインドを下ろさないと眠れない。
反対に冬は数時間で暗くなるため、長い夜を過ごす楽しみが必要(サウナ・ダーツ・手芸・クラフトなど)
- 夏は植物もよく育つが、蚊も大発生する。森でマッシュルーム・ベリーを採集し、ジャムや乾燥させて保存する。森の恵みを利用する料理の数々がある。
- スーパーでは湖で獲れたサーモンなどの新鮮な魚や露地野菜、乳製品が豊富

フィンランドではサウナと森と湖を十分楽しむ知恵があった